

第6学年 学級活動指導案

児童数 22名

指導者 新川 拓生

- 1 議題 元気な声で明るい挨拶を全校に広げるために、6年生の挨拶を見直そう
—6年生パワーアッププロジェクト パート2 挨拶編—

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の子供たちは、明るく素直な子供たちが多い。5年生の終わりから、集団登校やなかよし清掃のリーダー、1年生の世話等の責任を一気に担うことになり「全員それぞれの場で全員がリーダーとしてやらないと班やみんながまとまらない」という自覚が芽生えるとともに、先頭に立って引っ張ることの難しさとやりがいを感じてきている。

学級目標を決める際には、学級目標（言葉）は飾りではなく、目標として意識できるもの、そのために覚えやすいもの、自分たちの実態に合うものであることを確認してから話し合った。現在の自分たちのよさや課題を一人一人が考え、どんな自分たちを目指したいのかを考えた。「まちがいを恐れない勇気」「積極的に行動」「いじめやけんかなく協力」「下級生のあこがれ」を目指そうと話し合い、この4つを学級目標とした。自分たちの実態を把握するために時間をかけ、じっくりと決めたことで、自分たちらしい学級目標になり、その達成に向けてがんばっていきこうという気持ちがより高まり、1学期をスタートした。

(2) 議題について

6年生に進級した子供たちは、学校の顔としてリーダーの責務を果たしていこうとする意欲に満ちている。そんな子供たちに、「学級づくり」だけでなく「学校づくり」を意識して、自分たちのカラーを出しながら発信したり、実践したりしていくことを期待している。一年間の子供たちの育ちの過程を想定し、機会を捉えて、目指す姿を子供たちに伝えていきたい。また、今、自分たちがどの段階にいるのか、更にどこを目指していけばよいかを捉えられるように、振り返りや話し合いを積み重ねていく。そうすることで、子供たちは学級の課題と学校づくりを重ね合わせ、話し合い、実践に向かっていくと考える。

そこで、節目節目で6年生としての自分たちの課題に気付き、どんな力を付けていきたいかを考え、実行し、成果を振り返ることができるようになってほしいという願いを語り、子供たちに「6年生パワーアッププロジェクト」をつくって成功させようと投げかけた。そして、1回目の「6年生パワーアッププロジェクト」を運動会・連合運動会に向けて行った。100m走と60mH走の4月のタイムをどれだけ縮められるかという「個人の目標」を、みんなの合計タイムをどれだけ縮められるかという「みんなの目標」に置き換え、そのためにみんなでどんな活動をしていけばよいかという議題で話し合った。話し合いの結果、目標タイムを100m走は15秒、60mH走は13秒縮めることに決め、達成するための行動目標として、休み時間にもも上げや築山登りをすることを決めた。休み時間毎に、友達と声をかけ合い、グラウンドに出て練習に励んだ。自主的に決めたことなので、みんなで取り組む姿が見られた。その結果、連合運動会では、100m走は目標タイムを大きく上回りみんなで45秒縮めることができた。子供たちは、話し合っただけで目標を決め、取り組んだことへの充実感と友達と一つのことを成し遂げる一体感を味わうことができた。

子供たちは、これまでリーダーの自覚と責任をもって行動し、運動会・連合運動会という大きな行事をやり遂げてきた。そこで、2回目の「6年生パワーアッププロジェクト」として、次は日常の自分たちの姿に目を向け、特に挨拶についてパワーアップを図ってほしいと考えている。挨拶は今までも、そして、これからも毎日していくものである。しかし、子

供たちは、その挨拶の意義や自分たちの挨拶の姿というものをよく分かっていないのも実態である。挨拶をすることで得られる喜びや心地よさ、更には、よい人間関係づくりのきっかけとなることに気付かせたい。そして、学級目標にある「下級生のあこがれ」となるために、態度や行動で下級生への模範となるような取組をしていく子供になってほしい。

3 研究主題との関連

(1) 望ましい集団活動につながる話し合い活動の構想

① 学級目標の達成を目指して展開する学級活動

子供たちと学級目標の5月の振り返りを行った。5月は運動会や連合運動会があったこともあり、自己評価も学級評価も高い数字となった。自分たちのがんばりを素直に評価し、自己肯定感を高めている。毎月、学級目標を踏まえて自分と学級の仲間の姿を同時に振り返り、結果を数値で掲示していく。振り返りを継続し、数値化することで、自分や学級の現状や変化を一目で把握できるようにする。また、数値だけでなくコメントを記述することで、評価の根拠と改善すべき課題が明らかになり、よりよい学級をつくっていこうとする意識と実践につながると考える。この後も毎月、学級目標の達成状況を評価し、自分と学級の仲間の姿を振り返ることが自分たちの状態を把握することにつながり、学級目標を意識して発言や行動をしていくようになると思う。みんなで決めた学級目標が、自分たちの成長や変容を捉える拠り所であり、立ち戻る原点となることを期待している。

② 議題を設定するための方法

本校では「下村っ子にこにこ宣言」という児童会で決めた全校の目当てがある。今年度も昨年度の「下村っ子にこにこ宣言」の見直しを図り、代表委員会で修正を行った。いくつかの宣言を修正することになったが、二つ目の宣言にある「挨拶」の項目は、昨年度のまま継続されることとなった。その理由として、「目を見て挨拶している人や自分から挨拶をしている人が少ない」という意見があった。また、「笑顔で」という言葉を加えるという意見もあったが、「明るいに含まれるのではないか」という意見から「笑顔で」は加えずに、昨年度の宣言を継続することに決まった。そこで、挨拶について子供たちの中で話題に挙がったことをきっかけに、児童会を支える一員として、最高学年として自分たちの挨拶の実態にしっかりと目を向け、考えさせたいと考えた。

客観的に自分たちの現状をとらえるために、ビデオで朝の登校の様子を撮影し、挨拶の現状を把握させた。ビデオを見た子供たちは「自分から目を合わせ、元気な声で明るい挨拶をします」という「下村っ子にこにこ宣言」にある目当てを意識したり、さわやかに挨拶したりしている子供が少ないことに気が始めた。そこで、「下村っ子にこにこ宣言」にある「元気な声」とはどんな挨拶なのか、「明るい挨拶」とはどんな挨拶なのかを考えさせたい。そして、自分たちの目指す「元気な声で明るい挨拶」の具体的な行動目標を決め、どうすれば下村っ子に浸透するか考えさせる。子供たちはこれまでの経験から、挨拶運動をして自分たちから元気で明るい挨拶をしたらよいということをまず考えるだろう。そこで、1回目の試しの活動として、朝の挨拶運動を実施してみる。その後、司会者グループと試しの活動についてどんな形態で挨拶をしたらいいか考えさせたい。予想として、全員で並んだり、グループで固まって場所を決めてしたり、各自が各々の場所を考えてしたりする案が考えられる。出された案について、2回目の試しの活動をそれぞれ行う。試しの活動を経験することで、具体的な挨拶を交わした場面や、形態についての善し悪しも実感できると考える。それを本時の話し合いで互いに語り合い、よい挨拶を広める目的と自分たちの学級目標を達成するのにふさわしい方法とをすり合わせながら考え、話し合わせたい。自分から積極的に発言したり、行動したりすることに慎重になりすぎる自分たちを変えるために、自分から挨拶をする「勇気」を大切

にするのか、それとも、自分たちの姿を通して全校にさわやかな挨拶の輪を広め、あこがれの6年生になることを目指すのかが話合いの中心となることを期待している。

(2) 主体的・協働的に話し合う手立て

① 「熟考」する場を設定する

限られた時間内で意見を交換し練り上げるために、議題についての各自の考えや理由、根拠等をまとめた資料を事前に全員に配布する。そして、資料に自分の考えと異なる案のよいところや互いの案の心配なところ、解決策を書き、自他の意見と比較、整理する。それぞれの意見のよさや問題点、詳しく聞いてみたいことを各自が明確にしておくことで、話合いが具体的になり、比較的早い段階で焦点化できると考える。

② 建設的な「議論」を重ねる

本学級の子供たちは、みんなの前で考えを発表したり、友達の意見について自分の考えを述べたりすることに自信をもてない子供が多い。そこで、会議カードや意見一覧表を基に、話合いのポイントとなる意見を書いている子供に聞き取りを行い、具体的な経験や言葉を引き出したり、話合いに向けて自信をもたせるようなアドバイスをしたりしておく。また、輪番制で行っている司会者グループについても、進行をすることに戸惑いを感じている子供もいるので、進め方のマニュアルを用意したり、会議カードを基にした全体の流れのシミュレーションを事前に行ったりして、自信をもってスムーズな進行ができるようにする。話合いの中で司会者が困っているときや、発言者の真意がうまく伝わらない場合、教師は、積極的に子供たちへの切り返し発問や、代弁を促す言葉をかけ、話合いの型や対応の仕方に慣れさせるようにしていく。

(3) 合意形成を目指す話合い活動の在り方

① 互いに意見を「出し合う」時間の確保

事前に、黒板書記は、配付資料を基に意見を集約し、画用紙の短冊にマジックで書いておく。話合いでは、その短冊を黒板に貼っていくことで、話合いの流れを妨げずに意見を整理し、意見交換の時間を確保することができるようにする。

② 論点整理のための「比べ合い」

話合いが深まってくると、それぞれの活動の価値に気付き、どちらも大切にしたいと考える子供が出てくると予想される。そこで、集団決定を行う前に、比べ合いタイムを設ける。比べ合いタイムでは、教師が拡散した意見を整理し、論点を明らかにする。今までの自分たちの姿から脱却できる勇気や下級生のあこがれを示すことができるには、どれがよりよいかをじっくりと考えさせることが大切である。価値の相違点を明らかにし、それぞれの意見を関わらせ、合意へと向かわせたい。その際、教師は黒板の短冊を移動させて意見を整理しまとめる。相違点と共通点を可視化し、構造化することで、論点と価値が明確になり、子供たちは、考えをより深めて合意と決定に向かっていくと考える。

③ 相手への理解を深める「分かり合う」場の設定

相手を理解した上で合意につなげるために「分かり合いタイム」を設ける。その際、今、自分の気持ちはどの案に近いのかを意思表示するための紙コップの札を用意し、どこからでも友達の考えが分かるようにする。また、迷っているという子供の意見を大切にするために、「迷っている」という札も用意しておく。

「分かり合いタイム」では、違う立場の人の話を聞きに行く時間をつくる。相手を説得するための時間ではなく、相手の考えを理解するために行うという心構えをもって臨ませるようにする。「違う立場の人の話を聞きに行こう」という約束と、表情やうなずき、「うん、うん」「なるほど」などの相づちを入れるように事前に指導する。そして、自分の席に戻ってから、相手の立場を理解できたか会議カードに書き込み、その後意見交換をすることで、相手の思いをくみ取った意見の述べ方がだんだんできるようになると考える。

4 議題の目標

- 元気な声で明るい挨拶するために、自分の考えを進んで発表し、みんなで取り組もうとしている。
(集団活動や生活への関心・意欲・態度)
- よりよい学級や学校づくりについて話し合ったり、決定したことにみんなで協力し、信頼し合って取り組んだりすることができる。
(集団の一員としての思考・判断・実践)
- 話し合いの仕方や、よりよい結論を求め実践していくための手順や方法について、理解している。
(集団活動や生活についての知識・理解)

5 評価規準と活動計画

(1) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・実践	知識・理解
・学級や学校生活の向上に関心を持ち、積極的に話し合いや活動に取り組もうとしている。	・よりよい学級や学校づくりについて考え、意見を述べ合い、判断している。 ・決定したことについて、信頼し励まし合って取り組んでいる。	・話し合いの効率的な進め方や、決定したことを全員で実践していくための手順や方法について、理解している。

(2) 活動計画（3時間＋課外）

月 日	活動時間	形態	活動内容	目指す子供の姿と 評価方法
5月27日（水）	学級活動 1/2時	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の登校時の玄関での様子を映したビデオを見せ、自分たちの実態を把握。 ・「元気な声」とはどのような声か。「明るい挨拶」とはどのような挨拶か考える。 ・元気な声で明るい挨拶を全校に広めるためには、どんな活動を実践すればよいかアンケートをとる。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な声で明るい挨拶する姿を実践するために、自分の考えを進んで発表し、みんなで取り組もうとしている。（観察・会議カード） <p>【知識・理解】</p> <p>（司会グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見一覧表を基に、学級会の進め方の手順と話し合いの流れを理解している。（観察・進行計画カード）
5月28日（木） ～ 5月29日（金）	課外	全体	・試しの活動をする。	
5月29日（金）	課外	司会 グループ	・提案する内容を話し合い、案を絞る。	
6月 1日（月） ～ 6月 3日（水）	課外	全体	・試しの活動をする。	
6月 3日（水）	課外	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目当てと話し合う内容を確認する。 ・議題に対する考えをもち、会議カードに書き込む。 	

6月 4日 (木)	課外	全体	・意見を集約した一覧表を見て自他の意見のよい点や心配な点、その解決策等を一覧表に書き込む。	
6月 8日 (月)	課外	司会 グループ	・学級会の進め方について、打合せをする。	
6月 9日 (火)	学級活動 (本時2/2時)	全体	・元気な声で明るい挨拶するために学級全員で取り組むことを決める。	【思考・判断・実践】 ・学級目標を意識しながら、学級全員が進んで取り組む挨拶運動について、自分の考えを発言したり、友達の意見の異同を比べながら聞いたりしている。 (観察・会議カード)
6月10日 (水)	課外	司会 グループ	・今後の計画を立てる。	【思考・判断・実践】 ・具体的な役割や準備、活動計画について考えている。 (観察・計画表)
6月11日 (木) ～	課外	全体	・実際に活動に取り組む。	・元気な声で明るい挨拶の声をかけ合っている。 (観察)
	課外	全体	・取り組んだことを振り返り、ミニ集会等を通して、全校に紹介する。	【思考・判断・実践】 ・活動を振り返り、学級目標の達成ができたか考えている。 (観察・振り返りカード)